

小規模事業者、フリーランスの声（宮城県）

みやぎコロナ互助会では、2020年4月18日から4月30日までの間、宮城県の新型コロナ対策に関して、小規模事業者とフリーランスの方に「困っていること」「対策の要望」についての声を「県民の声」として火星の庭HPとTwitterで募集しました。

みやぎコロナ互助会の趣旨に賛同された方は現在189名です。そのうち半数以上から「県民の声」をいただきました。お寄せいただいた中から、おもに当事者の具体的な対策の要望があるものを掲載に同意の上で公開することにいたしました。

これまでみやぎコロナ互助会では、宮城県の経済部、県議会議員各会派、仙台市市長秘書課、仙台市議会議員各会派へ約60名の方に要望書または陳情書と一緒に県民の声をお渡ししております。

ネット上に公開することで、お会いできていない知事、市長、県と市の執行部の方々、県議や市議会議員の方々、さらに国会議員の方にも読んでいただければと思いました。また一般の皆様にも小規模事業主やフリーランスがどんな状況で困っていて、どういった支援を求めているかご理解いただくことも大切だと思っています。

これからも日常の暮らしを支え街の魅力をつくる小さな仕事が守られることを願っております。

私は内装のリフォームを生業としており、現在は繁忙期のため仕事は続いているのですが、それが過ぎればかなり減少するのは目に見えています。周りの職人達の中では今回のコロナの煽りで、仕事がキャンセルされたり、失業に追い込まれる者もいます。

私はいわゆる独り親方とよばれる存在ですが、小さなリフォーム屋からの仕事をする労働者です。しかし会社からは何の補償も得られない、フリーとは名ばかりの状況で生活してきました。コロナ禍が続けば、仕事も減り、家賃や社会保障費もままならなくなるでしょう。もちろん会社からは何の手当もありません。個人的なことを書いているように見えますが、私のような存在はこの業界はかなり多くいます。そしてそういう人達は一度困窮に喘ぐとなかなか元の生活に戻ることができません。普通の生活をしているように見えながら、簡単に社会的弱者になりえるのです。

市政、県政、そして国政は何のためにあるのでしょうか。

人の命のためにあるのではないのでしょうか。仕事を失った人や収入に不安のある人達は、明日の生活にも困りますが、精神的にも追いつめられます。困窮した人達はそんな生活を自己責任という言葉で自らを責めてしまいます。悩みを抱えたまま自から命を絶つ人も今後出てくるかもしれません。

人は弱い存在だと、私達は震災で痛感したはずです。

震災を経験した宮城県だからこそ、今回のコロナ禍で窮乏する人達にもっと手厚い補償がなされるべきだと強く思います。

(仙台市／内装業、写真家)

わたしは自宅兼お店のため、家賃がということは、他の方々よりは影響がないですが、ウィルスの影響から、来客は少なくなり、イベント自粛により出店もなくなりましたので、以前の売り上げになんとか近づけるため、同じような状態の店主さんとネット販売を立ち上げるなどしています。お店は短縮営業して、なるべく、人同士の接触を避けるようにしたり、補助金などもないため、ウィルスに怯えながら、生活のため少しずつでも営業せざるを得ない状況です。飲食、小売にも、補助があれば、完全休業、営業自粛というかたちを取れます。休業要請はしてないから、勝手に頑張ってくださいと、つき離されたような気分だ、という声をたくさんの方から聞きます。ぜひ考えて頂きたいです。(仙台市／パン製造・販売)

新型コロナウイルスの感染拡大の比較的早い段階で厚労省が打ち出した「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金」についてですが、フリーランスの実態に即しておらず、申請が煩雑で困難を極めます。ですので手続きを簡略化した上で宮城県独自に近い補償を打ち出してくれたら非常にありがたいと感じております。(仙台市／デザイナー)

当方は屋外型のレジャー施設ですので県の休業要請にはかかりませんでした。外出自粛の要請のため、来客も昨年の1割程度となっており、非常に苦しい状態です。何卒よろしくおねがいたします。
(東松島市・個人事業主／ゴーカート場経営)

要望書にあるように、いま本当に困っている人が声を出します。本人抜きにことを進めることはあちこちで破綻してます。文化活動は、弱っている時に人を前に向かわせるエネルギーを持っています。その事に支えられている市民県民は多くいます。みんなコロナ感染拡大を避けようとふんばっています。しかし未来を見えなくさせられています。底辺を支えるのが行政の役割です。私たちから「何気ないささやかな平和な暮らし」を奪わないでほしい！心からのおねがいです。この要望書にあるように未来に希望をもたせる具体的な施策を！フリーランスの生活基盤を支える政策を示してください。よろしくお願いします。(仙台市／保育士、合唱団団長)

仙台で個人で布小物などを制作、展示販売を生業にしています。3月から6月までのイベントは全て中止。百貨店等の催事に参加しても来店者もなく、教室も開催中止です。自宅作業場所なので家賃もかかりますし、この先は廃業を考えざるを得ないかと思っています。(仙台市／作家)

個人ピアノ教室であります。多賀城市内の幼稚園を借りて週の半分を、あとは自宅にてのピアノレッスンがおもな仕事です。宮城県内学校休業に準じながらレッスンを休みにしておりますので、3月1日から今現在休業という状況、学校にも行けず、ピアノレッスンなどの習い事すら行けないなかで、ストレスがたまりやすい子供たち(生徒)には、希望者にはLINE等の無料レッスンをしながらなんとかやる気を継続させるため、あるいは文化、芸術を衰退させないために収入がないのかなんとかかんとか今まで過ごしこれまで来ておりますが、たとえば楽器購入などに発生したローン返済は無収入だとしても支払いがあったり、夏に発表会を開催する予定で仮予約済みのホール使用に関する経費など(たぶん夏開催発表会も中止せざるをえないと思いますが)、見えない経費をもちろん義務ですから支払うのが現状。収束するのかさえ先の見えないなか、考えるのはお金のことばかりとなっています。もちろん貸付などの救済措置があるのは承知ですが、貸付は貸付であり、しかもそんなに大きな額は借りれません。

いつも思うのは、世の中、色々な職業の人がいるからこそ社会が成り立つのに、どうして1人で切り盛りしてるフリーランスなど、もちろん従業員を多くかかえているわけではないから外からみたら大企業に比べたらと思われるかもしれませんが、ピアノレッスンも子どもたちの将来に繋がる大事な習い事の1つだと考えています。お金があるから文化が継続できるという考えかたがどうも日本式かもしれませんが、世界をみても、文化や芸術、1人ひとりの生活や個性を尊重しながら経済が繁栄、社会が成り立つ国もあります。生活困窮により、芸術や文化を衰退させないためにも、どうか継続していけるある程度の保証を必要と考えます。

どうか大企業ばかり中心にものを見ることだけはやめてください。小さい規模の職業、会社であっても、なんらかの形で社会と枝でつながっていることを知ってください！大企業を支えてるのも、小さい会社などがあるから。どうか支援の手をわたしたちにもお願いします！子どもの明るい未来を考えると考えるならば、色々な業種への支援は絶対必要です！わたしたちも我慢し、考えながらなんとかかんとか努力しこれまでおります。どうか救いの手を！（七ヶ浜／ピアノ教室経営）

個人でパン屋を営んでる者です。県からの休業要請出る前に、営業自粛、臨時休業にしていました。自粛要請、休業要請にいくら生活に必要な食品と言っても個人経営ですし、感染した場合には今後の営業にもリスクが出てしまうと感じ、そして、皆様(お客さまの)自粛の妨げになるなど判断したため出した決断でした。休業要請協力金の問い合わせをすると対象外でした。今は融資の相談し、店の経営をなんとかしていかないと…、いつまで臨時休業にしたらいいのか考えているところです。（大崎市／菓子製造販売）

水道料金の減額、または基本料金の免除を要望します愛知県刈谷市は、4ヶ月基本料金の免除を決めたそうです。電気、プロパンガスは民間の企業なので、まずは公営の水道料金を減額してほしい。（仙台市／アパート経営）

フリーランスのデザイン業として、主に、農家・食品加工業者等のパッケージデザイン、児童館や保育所等へのパフォーマンス/教育プログラムの提供、福祉施設の活動支援を行っています。活動自粛が広がる中で、外部専門家として関わる私たちは、業者や施設への訪問が難しくなり、取引先の経営難の煽りで仕事を失っています。一方、現場を持たないこともあり、外出を最低限にして、感染拡大防止に努めています。いまはオンラインでできることを中心に新たな事業開発を模索していますが、時間がかかります。その間の支援を求めます。（仙台市／デザイン、イラスト、企画、パフォーマンス、教育/保育、ソーシャルワーク）

仙台市太白区で理容室を営んでいる者です。休業要請対象から外れたものの、今で言うかなりの三密状態での施術を余儀なくされ、休むにも補償対象外で宮城県及び仙台市からは見放された感じが否めません。長年培ってきたお客様との信頼関係を壊したくないからこそ、来店される度全員に体調の善し悪し、県境を跨いでの行動履歴の有無、コロナ感染者が身近にいないかどうかの確認。目の前で手の消毒をお願い、帰った後には換気・消毒と一通りの事をこなしてまた次のお客様を対応する。

信頼しているけど我々が取っている行動が信頼してないと取られても仕方ない。それもこれも無理してでも営業しないと家賃や固定費の捻出がままならないのです。対象から外れた方々に対して自治体として何とか行動を起こして欲しいと強く念じます。 (仙台市／理容室)

私は家族介護をきっかけに長年勤めた会社を辞め、H31年2月に高齢者や障害者、癌末期の患者様等のご自宅や施設を訪問し、疼痛緩和や機能維持を目的としたマッサージや機能訓練を行う治療院（個人事業／スタッフ2名雇用）を経営しています。今回のコロナに関わる助成金、給付金のほとんどが前年同月比の売上との比較50%減ばかりで、借金して立ち上げ1年経過しようやく軌道に乗り始めようとしているような創業まもない個人事業主への支援策がほとんど見当たりません。2月末から高齢者施設への入室を次々制限され、当初見込んでいた売上と比較すると50%以上ダウンしています。仕事柄休業要請対象にはなっておらず、むしろ健康を守る意味で必要な分野、スタッフは訪問件数は大幅に減ってはいますが、感染リスク(媒介も含め)を背負いながら、日々訪問を続けています。

この先、スタッフの雇用維持、事務所賃料等、「売上の倍の金額」が毎月流れ出ていくことになりました。手元資金が不安で追加融資は受けましたが、本来必要がなかったはずの借金です。創業時の借金と合わせると毎月の返済も相当負担が大きく、この先の返済がとても不安です。創業まもない個人事業主にもぜひ支援策を考えて頂きたい！と思われてる方も多くいらっしゃるのではないかと思います。志し固く起業した方々もぜひ救って欲しい。 (仙台市／鍼灸治療院)

諸々の補償等についての意見は下記です。

1) 事業所・店舗の家賃について

一番の問題は、大家さんへの補償についての議論が深まっていない

ことにあると思います。また、申請をテナント側にやらせるもの問題があると思います。

例えば、大家さん側の減免が認められるとして・・・

- ・大家さんからテナントへの50%減免の申し出

↓

- ・テナントが了解した旨、大家さんとテナントで書類を交わす

(おそらく社判、直筆のサインは必要かと思いますが、

メール・PDFでのやり取り&郵送で行う)

↓

- ・大家さんから行政に、テナントとの書面をまとめて提出

↓

- ・減免分が、行政から大家さんに支払われる

2) フリーランスの賃金問題

フリーランスはそもそも収入に大きな幅があるので、

一律給付だが、もらう必要のない人は手続きをする、
ということにする。

3) 従業員の給与

従業員さんに関しては、70%とか80%の補償が行われるのが
望ましいと考えます。

また、個別の、国民一人当たりの補助も必要ですが、
従業員単位で補償できれば、
個人の申請に対する負担も減ると思います。

4) 関連窓口

密を減らす、ということだと、まずはインターネット上での申請手続きシステムの構築が急務かと思
います。先日、とある申請のため印鑑証明を取りに行かねばならず、やはり少しためりました。
結果、窓口終了直前のアエルに行きましたが、処理する人たちにも、申請する人にも大きな問題だと
思います。(仙台市／広告の企画、制作業)

休業補償がないままの"自粛"は、個人事業主のみならず、フリーランスで仕事にあたる方々の生活を
振り捨ててしまうこととなります。また、新型コロナウイルス関連の対策をワンストップで行う必要
を感じます。手続きが煩雑になり、あらゆる支援がスピード感なきままに、有効に執行されないかも
知れないという危惧を抱いております。総合窓口を作ることは、県民にとっても行政にとっても有効
な手であると考えます。数多くの県民のみならずの声が寄せられますように願うばかりです。(仙
台市／芸能実演家、俳優)

黒川郡大和町で理美容室を営んでいます。この度の緊急事態宣言で自店もお客様のキャンセル・外
出自粛と、お客様がご来店する際の危惧があり売り上げが減少してます。ですが税金、健康保険、家
店のローンなどの請求は待ってくれません…。ましてや僕1人で営業しているので休めもしません。営
業の際もお客様に細心の注意を払って営業していますが僕自身がウイルスを持っているかもと毎日精
神的に苦しくなっております。どうかこの状況を少しでもわかっていたいただきたく賛同のメールいたし
ました。何卒、よろしくお願い致します。(黒川郡大和町／理美容室経営)

自営業なので、お店の家賃や自分の生活費に影響がでていて困っています。
自分も家賃補助と営業自粛に対する休業補償が宮城でも行われてほしいです。
(仙台市／バー経営者)

普段はイベントの記録／PR動画などがおもな仕事ですが、コロナ禍でイベント自体がないため、撮影ほか派生する仕事もまったくありません。今まで少なかった配信などの仕事がこれから増えるのかもしれませんが、先の見えない状況であらたに設備投資するのも難しい状況です。（仙台市／映像関係）

コロナ感染予防を第一に考え、生徒さんやそのご家族をウィルスから守るために休講しています。医療現場のパンクを防ぐため、一刻も早い収束を叶えるため、断腸の思いで休講しています。しかし一方で、このウィルス感染拡大問題を受け、営業が出来ない件については、フリーランスや個人事業主のデメリットやリスクという次元ではありません。ウィルス感染については長期戦だとしても、いつか落ち着くのだと思います。そのときに、それぞれの店舗や教室が潰れてしまっているのは、経済がかなりの期間滞おることは目に見えています。生活に困窮していることも事実で、経営者、運営者の命の問題も瀬戸際と思っています。経済は人の命がなければ回りません。従って、家賃を減免した大家に対しての補償、経営者、運営者を含むスタッフの収入補填や休業補償を要求します。

（仙台市／ピアノ講師）

職業訓練を受け工場勤めが東日本大震災により死ぬような想いをしてPTSD状態、結局工場勤務はあきらめフリーランスで独立。その後もアレコレありつつ、どうにかフリーランスライターに落ち着いていたところ、2020年コロナウイルスです。誰も責めません。贅沢したいとも言いません。40代半ば過ぎて結婚したいと高望みもいたしません。あるいはそんな人間など社会に貢献できないと思うやもしれませんが、せめて生きさせてください。よろしくお願いします。（仙台市／フリーランスライター）

当店も3月の半ばくらいからお客様が減り、経営も大変です。いつまで綱渡り状態が続いていくのか不安で仕方がありません。弊社といたしましても、休業要請が今後も続くようであれば休業保証の支給を希望します。そして、家賃補助もあれば大変助かります。コロナが終息したときに、ひとつでも多くの企業・個人が生き残ることは地域の希望になると考えます。

今は、県も市も大変な決断ばかりだと存じますが、今しっかりと保証をすることで、経営者が経営を安定させることに集中できます。

そして前に進む気持ちを諦めずに済みます。何卒この声も村井知事にお届けいただけましたら幸いです。宜しくお願いいたします。（仙台市／整体エステ）

当店も、コロナの影響で土日以外は営業を自粛している状況です。ランチのテイクアウトと和菓子の販売でなんとか繋いでいければと言うところですが、自主努力では限界を感じ、自粛と生活不安との狭間で毎日を過ごしております。つながりのある八幡地域の飲食店様とは、励ましあい、切れそうな気持ちをなんとか保ちながら、地域としても何かできることはないか模索している状況です。やはりどのお店さんについても、固定費（家賃）と自粛による売上減少につきましても、補助の必要性があると感じています。（仙台市／飲食店経営）

飲食店への休業要請や時短営業要請に伴い、毎日の売上が全くありません。隣の山形県ではタクシーや運転代行業への補償もあるようです。協力させてください。（仙台市／運転代行業）

旅館、飲食店等に納品していますが、旅館さん等が休業しているのので、売り上げがほとんどない状態です。（大崎市鳴子温泉／酒店経営）

パンの製造販売をしておりますが、県に問い合わせたところ、『パンは生活必需品なので対象外』との返答でした。お客様の出足も鈍り、売上が激減しております。しかしながら、毎月の家賃は払わなければならないのが現実。（石巻市／パン工房）

街中でファミリーマートを経営しています。フランチャイズ加盟している個人事業主です。休業要請は出されていないので、営業は続けておりますが、日に日に売上、客数は激減しており、4月は数十万円の赤字が確定的です。時短営業や休業をしたいと思っておりますが、休業要請が無いので、実現は容易ではないです。県の相談窓口にも相談しましたが、もし出来てもコンビニは協力金の対象外と言われました。感染の恐怖に怯えながら毎日営業しておりますが、何の条件にも当てはまらず、支援が一切受けられない状況です。閉めても赤字、開けてても赤字。感染のリスクも毎日背負い、子供達を家に残して毎日開けているのです。どうか、支援をお願い致します。（仙台市／コンビニ経営（フランチャイズ）個人事業主）

フリーランスのバスガイドです
2月くらいから仕事の入りがなくなり例年だとこの時期はお花見ツアーから始まり、学校の遠足、修学旅行と続くはずでしたが現在仕事は全てキャンセルです秋以降、修学旅行の予約はあひますが学校開始時期やまたコロナがさらに流行したらそれもなくなくなりますアルバイトで働いてますが派遣なので時期で切られたら仕事もなくります住んでる部屋の家賃補助の申請おきましたが生活困窮の申請で

生活保護レベルじゃないと通らないくらいであきらめました。あの金額水準では光熱費さえも払えないという金額ですなんとか家賃は大家さんから延滞してもらってますがぜひとも家賃補助をフリーランスにも住む場所確保でお願いしたいです

私たちは観光を通して県内県外の素晴らしさをご案内する仕事です、震災のときも知事の早い対応で3ヶ月で仕事復帰することができ、全国から沢山の方々に震災のことや復興のことを話せることができました。

どうかこの職業を絶すことなく、また終息したときは全国の皆さんに楽しんで頂きたいと思います
(宮城県／バスガイド (フリーランス))

私は、泉区で乗馬や馬のふれあいを提供している個人事業主です。私の事業は、接触感染のリスクはありますが、野外でプログラムを提供しますので、比較的リスクの低い事業です。ですので、極力リスクを抑え、プライベートレッスンのみ開催したいところですが、今の利用者は、1歳から70歳までいるということ、また今の利用者にとしたらよいか意見を聞いたところ、自粛すべきだという意見があったので、コロナ対策の相談窓口へ相談しました。先方の対応は、「国からの緊急事態宣言ですので自粛をお願いします」と言われたので(スーパーで買い物するよりよっぽど安全かと思われるのに)自粛を選択しました。しかし、県の休業要請がなかったので対象外となりそうです。

【追記】※当事業は、宮城県の休業要請対象事業から外れましたので、予防対策をしっかりと施し、営業しております (仙台市／個人事業主 (牧場経営))

今回のコロナウイルスによる営業自粛によって飲食業や観光、販売その他いろんなところに影響が出ています。皆さん一生懸命なんとか持ち答えてますが、もう限界ギリギリの状態です。休業補償は、急務です。早急に対応よろしくお願いします。 (仙台市／清掃業)

私の収入は毎月あるのではなく、数ヶ月に一度開催する個展・グループ展等にてまとめたの形(一定期間に偏在)になるので現状での影響が見えにくいのですが、作品をお買い求めくださる方は特別裕福ということはなくごく市井の方ですので、そういった方が今後買い控えをすればこの先数年影響を受け続けることが容易に想像されます。作家はもとより、発表の場と販売を担うギャラリーの減収は確実です。作家やギャラリー等の発表の場の活動が続けられなければ、それだけに留まらず地域ないしこの国の文化が今後貧しくなっていくことは必至です。

影響の見えにくい存在がいるということをもっと知っていただけたらと思います。 (仙台市・画家)

私は仙南地区の理髪店で働いている理容師です。今回の緊急事態宣言の自粛対象に当てはまらない業種ですが、お客様への安全配慮及び従事者の安全のためゴールデンウィークは臨時休業する予定です

す。はっきりいって3密が避けられません。なのに自粛対象に入っていないのが解せませんし、お客様に確実に接する仕事のため私たちは日々不安の中働いております。なので苦渋の決断の上、一時休業するに至りました。

SNSでは頻繁に注意喚起や情報の発信がなされているので若い世代や中年層の働く人達には認知していることも目立つのですが、それ以上の世代の高齢者の方々はテレビどころか情報を収集しようという意欲もなくいつも通りに過ごそうとしています。こちらが教えてやっと知ったという人も多いです。なのでそういったSNSを活用しない高齢者の方々の理解を促す取り組みを県や市でも発信(情報伝達方法)を考えてほしいです。

またうちの理美容業種にも多いのですが、店主や上司が自粛対象にならなかったのをあえて幸いとし、従業員を3密のまま働かせている店舗が多くあります。理美容に限らずですが、会社でもそうですよね。上が決断してくれないと下の者は従うしかなく生きるために働きます。どうか弱い人達に訴えるのではなく、上の強い力のもった人達に届くように県が大々的に休業または時間短縮営業を直接働きかけていただきたいです。

まだまだ要望はつきませんが、どうぞ未来ある社会と生活のために助けてください。よろしく願いいたします。 (仙南地区／理容師)

当方は商業写真撮影をフリーで生業としているものです。スタジオを持って一般のお客様を相手にしてはいませんので休業要請されている、施設としての「写真屋・フォトスタジオ」には当たらず、「感染症拡大防止協力金」の対象にはなりません。4月に入ってからは、ほとんどの情報誌用取材撮影・広告用撮影が延期または中止となり売り上げが立ちません。実質休業状態です。以上宜しく願いします。(仙台市／フォトスタジオ経営)

- ・家賃の補助があるとかなり助かります。
 - ・国民健康保険や住民税の免除、国民年金の免除などがあると個人的には助かります。
- (仙台市／パーソナルトレーナー)

子育て世代のママたちを支援する目的で始まった、ハンドメイド品の販売とカフェ併設のお店を営んでいます。スタッフは全員子育て中の地元の主婦です。現在、臨時休業中で、固定費も払えなくなる状況は目に見えています。スタッフの中には家族の収入も減り、不安を抱えている家庭もあります。自分たちの生活だけでなく、復興に取り組むまちの賑わいを絶やしたくありません。早急な対応をお願いいたします。(大崎市／ハンドメイド品の販売とカフェ併設の店)

フリーランスのコピーライターです。私の身に起きていることといえば、

- ① 取材した記事を掲載する雑誌が休刊になり、取材した分の料金を支払ってもらえない。
- ② 毎月編集・校正の仕事をしている会社からの発注がまったくない。
- ③ 通常は、新たな案件が入ってくるが、広告業界がまったく動いておらず、新規の依頼はまったくない。そのため、国の個人事業主向けの給付開始を待っていますが、あまりにも遅いです。

また、例年なら新たに仕事が入るはずが、発注がないことで収入減になっていることをどのようにして証明できるというのでしょうか。まったく先の見えない状況に暗澹たる気持ちになります。

一刻も速い、休業補償など迅速な対応を要望したいと考えます。

追記

5月2日、仙台市では市内中小企業等の事業継続に向けた支援金（地域産業支援金）が発表され、フリーランスにも給付金が支払われることになりました。

行政によって財政面での事情があるとは思いますが、同じフィールドで仕事をする者として仙台市以外の市民にもこうした支援があればと切に願います。

（名取市／コピーライター）

法人化していますが今はひとりで営業している広告制作会社です。チラシやパンフレットなど紙媒体を制作しています。取引先で展開する全店舗が休業したため定期的に受注していたチラシの発注がなくなったり印刷入稿が延期になっています。5月は自粛なGWもあり4月よりも売り上げ減になると思うので、、危機感でいっぱいの日々になっています。（仙台市／広告制作業）

塩釜尾島町で小さなカラオケスナックを1人で営んでおります。今回のコロナで4月6日より営業自粛しており、今回の休業要請も受けお店は閉めたままです。従業員はおりませんが、家賃 カラオケリース代 契約駐車場代など諸々経費は掛かります。まだ昨年9月23日よりオープンさせたばかりで、ようやく固定客が付き始めこれからという時ただだけに蓄えなど十分に無く不安と焦りだけで一杯の状態です。これからの支払いのために派遣でヘルパーを開始しましたが経費を払うだけになりそうです。政策金融から借入は出来そうですが結局は借金。今必要な援助資金が有ればと強く思います。皆さん同じ思いで悩んでいると思います。（塩釜尾島町／カラオケスナック経営）

私の場合は、まだお店（飲食店）をオープンする前なのですが、コロナ前に物件契約を結んでおり、この春のオープンを予定しておりました。現在は準備をストップしておりますが、仮に物件を解約するにしてもすでに支払った家賃以外に1年分の家賃が違約金等で発生してしまいます。何とかオープンを目指したいと考えておりますが、やはりコロナが落ち着くまでの空家賃が負担となっています。そこで開業前のお店でもテナント契約を結んでいけば家賃の補償をしてもらえないかとずっと考えておりました。私と同じような立場の人や4月にオープンしたけど前月の売り上げがないから補償が受けら

れず困っている人もきっといらっしゃるのではないかと思います。既にお店を経営されている方々への家賃補償もままならない中で私のようなケースにまで補償を広げることは難しいのかもしれませんが。無理を承知の上で私のような立場の意見も届けていただけると嬉しいです。

(仙台市・飲食店開業直前)

個人事業主でコンパニオン派遣業をしています。震災前の12月から起業し、5人で小さくスタートしたコンパニオンです。業務内容は、主に旅館、ホテル、割烹や、民宿等の宴会に、人材を派遣しお客様のお酌、接客などをレセプトしています。

起業早々、翌年3月に東日本大震災に見舞われ、主としていた南三陸の民宿や旅館は、壊滅状態に…その後、1年間は全く仕事が失われ、2年目に要約復興支援で、多方面から観光客のお客様が増え、再び少しずつ宴会のレセプトが出来るようになりました。

その後、細々とですが今日まで営業を続け色々な出会いやご縁があり、今では属する人材も20名に増え、ホテル等の協力会にも、昨年契約、加入したばかりで今年で10年目の節を迎える新たなスタートを切った矢先のコロナウィルス。震災直後は、コンパニオンの仕事は全く無かったので地元のスナックに身を寄せ、収入に関しては、どうにか補うことが出来ましたが、今回のこの状況下では、コンパニオンの業務も全て予定していた宴会がキャンセルになり尽くし、地元のスナック等の飲食店も休業状態。抛り所も、なすすべなく今月来月再来月…と、コロナウィルスが落ち着かない限りは、収入0の日々が延々と続くと思います。

休業協力金も、施設や店舗を運営していなければ、支給対象外。施設や店舗を構えるわけでも無く、自宅件事務所みたいな感じで、依頼の連絡1本で人材を集め派遣する私達にとって、他者が所有する店舗に出張して、業務を行っている者は対象外と該当し対象外となってしまいます。店舗を構えて居るわけでも無いたかが宴会コンパニオンと思われがちですが、私達の仕事も宴会の場でお客様をおもてなしし、また来客して頂けるよう尚且つ、宿にも売り上げを貢献し、立派な職の1つだと思っています。

メンバーの中には、母子家庭で昼職で補えない収入面を、コンパニオンの仕事で副業にし何とか、生活の足しにしている人員も在籍していますが、今は、その仕事が失われ苦境に立たされている母子家庭が多いのも事実。

4/25~5/6まで、自粛期間にも関わらず『屋外でのバーベキュー、20-30名に対して、コンパニオン派遣を お願いしたい』『東京から帰って来るタンカー船の船内で宴会をするので、船にコンパニオン派遣を お願いしたい』という、普段なら有難い依頼を受けたりもしましたが、今このような状態でも宴会の場をどうにか設けようとしている方達が居るのも事実ですが、私達は色々な支援に対して対象外な面が多く、日々の生活の為に、目先の収入源に目が眩みそうにもなりますが、目先の収入よりも1番大事なのは命なので、どうしても職業柄、3密を避ける事が出来ない、クラスター発生源の元にもなりかねないリスクを抱えてしまう為、全ての依頼に対して、今現在お断りさせて頂き休業している状態です。

施設や店舗も無い、依頼が入らなければ、経費も何も発生はしない私達ではありますが、依頼＝仕事が無ければ収入0は、皆さんと同じです。それでは、経営も生活も出来ません。従業員にも、業務を与え、給与を渡すことも、手当や保障すらも出来ません。他にも困っている方々は沢山居ますが、私達コンパニオンを経営してる他社の同業者の皆さんも含め、このような業種に対しても目を向けて頂き、支援、補助を宜しくお願い致します。その支援、補助を従業員の為に活用したいと思います。とても小さな声ですが、どうかこの声が届きますように

(登米市・個人事業主／コンパニオン派遣業)

自分たちの運転代行業も今回の休業要請対象の対象外となっております。運転代行の業務は二人一組での実務で事業主以外の相方はフリーターが主で、運転代行の業界も人材不足で安易に解雇も出来ず再開時を考え繋ぎとめているのが実情です。仙台の運転代行は小規模個人店が多く、非常事態宣言発令依頼売上0の日が多く家賃や生活費の工面等々で青色吐息で日々を過ごしています。自分たちを利用されるお客様は固定客・フリー客全て酔客で、その酔客の殆どは国分町の飲食店を利用しているのが実情で当然ながら飲食店が休業すれば飲食客が居なく自分たちの生活が立ち行かなくなる。等々コロナウィルスの終息が見えない現状では半世紀以上続く仙台の運転代行の火が消えてしまいます。

(仙台市・個人事業主／運転代行業)

フリーランスだと前年度比がないと補助金が出ない等条件が御座いますが、前年度途中まで産休していた為はかなり不利な状況にあります。

2018年8月に出産で、2019年3月までは産休とし、4月に保育園に入園させたタイミングで復帰しました。フリーランスですので、復帰すぐに毎月固定で収入があるわけではないです。コロナの影響で今年度の収入はかなり減っていますが、前年度の3月と4月が産休と産休明けすぐの状況だったため、前年度比が必要となると助成金の対象外となってしまいます。子育てしていたのが損、のような気持ちです。産後の女性の事業者は私以外にもいるのではと思います。どうか救済をお願い致します。

(仙台市／フリーランス (ウェブ、グラフィックデザイン))